

「さんべでミニ四駆体験」

1 趣 旨

- ・家族に体験活動プログラムを提供することで、家族の絆を深めるとともに、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- ・ミニ四駆を作る・走らせて遊ぶ・自分で考えて改造する活動を通して、「ものづくり」の楽しさ、作ったもので遊ぶ楽しさを体験することで、実感を伴った理解を図る。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①令和3年6月19日(土)～20日(日) <1泊2日>
 ②令和3年6月26日(土)～27日(日) <1泊2日>
 ③令和3年7月 3日(土)～ 4日(日) <1泊2日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 協 力 HOBBY SHOP 地球堂模型
- (4) 対 象 主として小学生とその家族
- (5) 参加者 ①61名(子ども35名 大人26名) 募集60名 申込109名
 ②78名(子ども43名 大人35名) 募集60名 申込145名
 ③69名(子ども36名 大人33名) 募集60名 申込108名
- (6) 講 師 HOBBY SHOP 地球堂模型 南條 達也 氏
- (7) 日程・内容

1日目	13:30	14:00	14:30	17:30			19:00	20:30		22:30
	受 付	は じ め の 会	I オリジナルミニ四駆を作ろう!! ～レースに向け、自分だけのミニ四駆を 完成させよう!～			夕 食 ・ 入 浴	II 選択活動 ①ミニ四駆改造・コース体験 ②自主活動		就 寝 準 備	就 寝

2日目	6:30	7:00	7:30	8:40	9:00	～		11:30	11:50
	起 床	清 掃	朝 食	退 所 点 検	III さんべミニ四駆カップ!! ～ミニ四駆を速く走らせ、仲間と競争 しよう!～			お わ り の 会	解 散

3 事業の特色

本事業は、ミニ四駆を作って実際に走らせる人気事業である。事業の特色として、1日目にミニ四駆を作って走らせる過程で、2日目のレース大会に向け、どのようにしたら安定して速く走行できるのか、参加者自らが試行錯誤を重ねていくことが挙げられる。そのために、通常のミニ四駆制作後、大きさの違う改造パーツ(ローラー)を配付することで、パーツの組み合わせや取り付け方の工夫による走りの違いを考え、遊びながら学ぶ楽しさを感じることができるプログラム構成とした。また、完成したオリジナルミニ四駆の展示会を行うことで、ものづくりに対する創作意欲を高め、参加者の興味・関心につなげるようにした。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	88	12	0	0
プログラム	85	15	0	0
運営	79	20	1	0
職員の対応	89	11	0	0

(2) 参加者の声

- ・説明がわかりやすく、「なぜそうするのか」「どうしたらいいのか」を考えさせてくれて良い刺激になりました。
- ・テンポの速い説明ではありましたが、徐々に集中して物を作る、さらに私よりレベルがちょっと高い息子に教えてもらい、親切なスタッフの人にも対応していただき、非常に内容の濃い楽しい時間となりました。
- ・ミニ四駆が何か子供は知らないが工作は好き、という理由で参加しました。今までにない集中力と意気込みで取り組んでいて驚きました。

5 成果と課題

《成果》

- ・本事業は、平成30年度から実施しており、4年目を迎えた。利用者からのニーズも高く、申込者数も募集人数を上回る人気事業であり、事業の運営や協力機関との連携も年々スムーズになってきている。また、実施回数や定員を増やし、利用者のニーズに対応している。
- ・本所が大切にしている「自分のことは自分で」を意識し、参加者が作業中に出たごみを自分で片づけ、使った道具をもとの場所に返却する等、自分のことは自分であることを意識しながら活動に取り組むことができた。
- ・参加者が各々で創意工夫をして改造や試走、ミニ四駆の色塗りを行い、工具を使った創作活動に慣れ親しんでもらうことができた。
- ・レースで負けて悔しがりながらも、笑顔を絶やさずに楽しむ様子が見られた。

《課題》

- ・オリジナルミニ四駆の制作に力を入れた結果、改造や色塗りに必要な時間が十分に確保できなかったことや、チラシに掲載していた製品との違いに一部の参加者から不満の声があった。
- ・今後、同事業を継続する場合、開始時刻を早めるなどの調整を加える。また、チラシ等での広報の際に、使用する教材の詳細や、前年度からの変更点を丁寧に説明するよう心掛ける。



親子で作り方を考えながら制作



完成したミニ四駆の展示会



全体の様子

(担当：事業推進係主任 岩本 一峰)